科目名	ペットビジネス実務		担当講師 (実務経験)	長崎　幸恵 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	・ポスター制作やディスプレイの技法を身に着ける　　・ペットビジネスを学ぶ				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	%
	小テスト・技術力・作品	60%
	レポート	%
	授業態度	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	ポップ　1	ポップの基礎を学ぶ　①
	2	ポップ　2	ポップの基礎を学ぶ　②
	3	啓発ポスター制作　1	各専門分野における啓発ポスターを制作する　①
	4	啓発ポスター制作　2	各専門分野における啓発ポスターを制作する　②
	5	啓発ポスター制作　3	各専門分野における啓発ポスターを制作する　③
	6	啓発ポスター制作　4	各専門分野における啓発ポスターを制作する　④
	7	啓発ポスター制作　5	各専門分野における啓発ポスターを制作する　⑤
	8	一般講座企画　1	「愛犬のしつけ教室」ポップ作成　①
	9	一般講座企画　2	「愛犬のしつけ教室」ポップ作成　②
	10	一般講座企画　3	「愛犬のしつけ教室」ポップ作成　③
	11	一般講座企画　4	「愛犬のしつけ教室」ポップ作成　④
	12	一般講座企画　5	「愛犬のしつけ教室」ポップ作成　⑤
	13	服飾制作　1	アクセサリー作り　①
	14	服飾制作　2	アクセサリー作り　②
	15	企業特別講習　1	ペット関連企業による講習　①

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	動物介在活動企画　1	「動物介在活動」ポップ制作　①
	17	動物介在活動企画　2	「動物介在活動」ポップ制作　②
	18	動物介在活動企画　3	「動物介在活動」ポップ制作　③
	19	動物介在活動企画　4	「動物介在活動」ポップ制作　④
	20	動物介在活動企画　5	「動物介在活動」ポップ制作　⑤
	21	動物介在活動企画　6	「動物介在活動」ポップ制作　⑥
	22	イベント企画　1	クリスマスのディスプレイ　①
	23	イベント企画　2	クリスマスのディスプレイ　②
	24	イベント企画　3	クリスマスのディスプレイ　③
	25	イベント企画　4	クリスマスのディスプレイ　④
	26	パッケージデザイン　1	パッケージデザイン制作
	27	パッケージデザイン　2	パッケージ制作
	28	パッケージデザイン　2	パッケージ写真撮影
	29	服飾制作　3	アクセサリー作り　③
	30	企業特別講習　2	ペット関連企業による講習　②

科目名	動物行動学Ⅱ(猫学)		担当講師 (実務経験)	藤井　美樹子 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　□前期　・　■後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	猫の起源、特徴や様々な猫種を学ぶ					
テキスト等	猫の教科書					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	猫の進化と歴史	人とのかかわり
	2	グルーミング演習1	猫のシャンプー技術などを学ぶ①
	3	猫の毛色。パターン1	目の色、特徴①
	4	猫の毛色。パターン2	目の色、特徴②
	5	現代の家猫達1	発生型、体型①
	6	現代の家猫達2	発生型、体型②
	7	猫の遺伝子1	血液型、繁殖①
	8	猫の遺伝子2	血液型、繁殖②
	9	グルーミング演習2	猫のシャンプー技術などを学ぶ②
	10	猫の健康1	免疫、伝染病①
	11	猫の健康2	免疫、伝染病②
	12	猫の特性1	感覚器①
	13	猫の特性2	感覚器②
	14	猫種1	世界の猫達、特徴①
	15	猫種2	世界の猫達、特徴②

科目名	動物飼養管理学Ⅱ		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10)後期(5)	時間(単位)	30(2)
教育の狙い	動物の飼養管理に関する基本的事項を再認識しながら、1級でさらに専門的知識を高めると同時に動物愛護や人と動物の共生などの活動を担う知識を深める				
目標	愛玩動物飼養管理士1級取得				
テキスト等	愛玩動物飼養管理士　教本1級　第1巻　・　第2巻				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物愛護論Ⅱ 動物関係法令 1	日本における動物愛護運動の歴史と展望について
	2	動物関係法令 2	伴侶(愛玩)動物、産業(畜産)動物、野生動物などの動物に人間としてどう対応するか、法律として規定について
	3	動物関係法令 3	伴侶(愛玩)動物、産業(畜産)動物、野生動物などの動物に人間としてどう対応するか、法律として規定について
	4	犬と猫の栄養学	栄養学の基礎知識について
	5	犬と猫の栄養学	栄養学の基礎知識について
	6	動物の疾病とその予防　1	犬猫の疾病とその予防　①
	7	動物の疾病とその予防　2	犬猫の疾病とその予防　②
	8	動物の疾病とその予防　3	その他動物の疾病とその予防
	9	動物の飼養管理と公衆衛生　1	人と動物の共通感染症とその対策　①
	10	動物の飼養管理と公衆衛生　2	人と動物の共通感染症とその対策　②
	11	試験対策　1	模擬試験　①
	12	試験対策　2	模擬試験　②
	13	試験対策　3	模擬試験　③
	14	試験対策　4	模擬試験　④
	15	試験対策　5	模擬試験　⑤

科目名	手話学		担当講師 (実務経験)	手話協会 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(10)　後期(—)	時間(単位)	20(1)
概要	聴覚障害者の言語である「手話」の基本を学びます。 外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学びます。 1，聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得・実践できる。 2，聴覚障害者のコミュニケーション手段の1つである手話という言語を基礎から学び、初歩的な会話ができる。					
テキスト等	さっぽろの手話					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	①聴覚障害の基礎知識 ②伝えあってみましょう	①理論講義「聴覚障害者の基礎知識」について学びます。 ②日常生活の中にあるものを身振りで伝えどのようにしたら伝わるのか身振りや表情の工夫について学習します。
	2	あいさつや名前の 手話を覚えましょう	挨拶・名前を表す方法を学び、聴覚障害者のコミュニケーションの方法がいろいろあることを理解します。
	3	人物の手話を覚えましょう	家族の紹介をする学習をしながら、人物の表現の基礎となる手話を学びます。
	4	数の手話を覚えましょう	数の表し方を学習して疑問詞を使って会話練習をします。
	5	趣味の手話を覚えましょう	趣味に関する手話を学習して、疑問詞を使った会話練習をします。
	6	職業の手話を覚えましょう	職業に関わる手話を学習して、会話練習をします。
	7	地名の手話を覚えましょう	住所や地名に関わる手話を学習して、会話練習をします。
	8	①手話の基礎知識 ②自己紹介のまとめ	①理論講義「手話の基礎知識」について学びます。 ②今まで学んだ手話を活かして手話を正確に表現し意思をスムーズに伝えあえるように練習します。
	9	時に関する手話を覚えましょう	1日や1か月の生活に関する手話を学習して、会話練習をします。
	10	①時に関する手話を覚えましょう ②試験対策	①1年の生活に関する手話を学習して、会話練習します。 ②今まで学習したことを活かせるように試験問題の対策をします。

科目名	ペットマッサージ		担当講師 （実務経験）	川地　ヒロ 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　（　■前期　・　■後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期・後期(10)	時間（単位）	20（1）
概要	動物の末病の状態で、飼い主や、動物専門者が病気を発見し、マッサージを施すことで動物が持つ自然治癒力を引き出す動物ケアの技術を習得				
テキスト等	筆記用具				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	中医学の理論。陰陽説 中医学の基本理論	気、血、津液、経路についても解説 tui-naに関して・今日のクイズ
	2	アキュプレッシャーに関して テクニックの紹介	アキュプレッシャーとは何か？ マッサージの必要性、tui-naのテクニック紹介
	3	デモンストレーション。ツボ探し ハンズオン	主要なツボ紹介と位置。各部のマッサージの仕方
	4	温通法の紹介	お灸。温パット、レーザー治療（鍼灸）、ホットストーン 今日のクイズ
	5	理論復習 デモンストレーション	中医学のの復讐。フルボディーのマッサージ デモンストレーション、グループセッション
	6	デモンストレーション各症状別 主要ツボの位置と効果	グループセッション 各症状のツボ確認。今日のクイズ
	7	ハンドオン エッセイ提出	各3つのポイントを選択・デモンストレーション ペット健康維持とアキュプレッシャーの必要性
	8	自然治療法　老犬ケア	家庭で施せる自然治療法の紹介 ディスカッション
	9	ハンドオンテスト　筆記テスト	ショートマッサージテスト（個人）・筆記テスト
	10	安全なマッサージサポート法	寝たきり、癌からの疼痛、怪我の後遺症によるマッサージに必要な無理のないサポート法・質疑応答

2023年度　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	家庭犬適性飼養実習Ⅱ－A		担当講師 (実務経験)	名取　裕憲 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　■後期　)	
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(30)後期(30)	時間(単位)　120(4)
概要	しつけ教室の講話・実技を通して動物福祉コーディネーターの資格取得を目指す				
テキスト等	筆記用具、実習着着用				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 レポート	20%
	授業態度	%
	出席状況	20%

	講	講義テーマ	講義内容
授業進行	1・2	基本動作について(1年復習)	基本動作について　・年間活動について・実習役割分担
	3・4	パピークラス教室-1	パピークラス案内・パピークラス教室-1・しつけでゲーム
	5・6	パピークラス教室-2	5・1.講師自己紹介・アメリカと日本の動物介在 6・パピークラス教室-2
	7・8	パピークラス教室-3	しつけ教室、模擬実技練習・パピークラス教室-3
	9・10	パピークラス教室-4	9・2.動物介在介入・チーム適正評価とは①　10・パピークラス教室-4
	11・12	パピークラス教室実技発表-1	第1回-1・パピークラス　基本動作　オスワリ、アイコンタクト
	13・14	パピークラス教室-5	13・3.動物介在介入・チーム適正評価とは② 14・パピークラス教室2、3回目に向けて
	15・16	パピークラス教室実技発表-2	第1回-2・パピークラス　基本動作　マテ、オイデ、ゲーム
	17・18	パピークラス教室-6	17・4.Pet Partners①アメリカでの動物介在介入について　18・パピークラス教室3回目に向けて・WanWanフェスティバルについて
	19・20	パピークラス教室実技発表-3	第1回-3・パピークラス　基本動作　脚側歩行、ゲーム・反省会、第2回に向けて　・WanWanフェスティバル(企画)-1
	21・22	WanWanフェスティバル-1	21・5.Pet Partners②チーム適正評価実技 22・WanWanフェスティバル-2
	23・24	WanWanフェスティバル-2	WanWanフェスティバル-3(実技発表)
	25・26	WanWanフェスティバル-3	25・6..Pet Partners③チーム適正評価実技 26・WanWanフェスティバル-4
	27・28	WanWanフェスティバル-4	27・7..Pet Partners④チーム適正評価実技 28・WanWanフェスティバル-5
	29・30	前期(まとめ)	前期(まとめ)・フェスティバル反省会

2023年度　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名		担当講師	名取　裕憲

		講義テーマ	講義内容
授業進行	31・32	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-1	1・8.・補助犬とセラピー犬の違い　ゲストスピーカー(介助犬ユーザー)　　2・テリー・ライアン-1・イヌのコミュニケーションと学習
	33・34	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-2	テリー・ライアン-2・イヌの応用動作
	35・36	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-3	5・9.日本での動物介在介入活動について 6・テリー・ライアン-3　飼い主がアルファーになる(しつけでゲーム)
	34・38	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室実技体験-1	第2回-1しつけ方教室　・ 行動矯正
	39・40	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室実技体験-2	9・10.CAPP① 10・第2回-2しつけ方教室　・別離の不安・無駄吠え
	41・42	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室実技体験-3	第2回-3しつけ方教室　・掘る、齧る、跳び付く、トイレ
	43・44	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-4	13・11.CAPP②チーム適正評価実技 14・テリー・ライアン-4・イヌの攻撃性
	45・46	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-5	テリー・ライアン-5しつけでゲーム・子供と犬
	47・48	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-6	17・12.CAPP③チーム適正評価実技 18・テリー・ライアン-6・新しい犬が加わる
	49・50	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-7	テリー・ライアン-7　・コミュニケーション技法
	51・52	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-8	21・13.CAPP④ 22・テリー・ライアン-8インストラクターの指導テクニック
	53・54	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-9	テリー・ライアン-9ペットを失う悲しみ　・しつけ教室参加者へのオリエンテーション企画
	55・56	テリー・ライアン 犬のしつけ方教室-10	25・14.日本での動物介在介入活動について　ゲストスピーカー　　26・テリーライアン-10・子犬の準備教育・幼犬クラス・飼育相談
	57・58	後期試験対策	後期試験対策-1・動作発表
	59・60	後期試験に向けて	29・15.チーム適正評価　総括 30・後期試験対策-2・講話発表

科目名	家庭犬適性飼養実習Ⅱ-B		担当講師 (実務経験)	新出　陽子 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(-)	時間(単位)	30(1)
概要	基本的訓練技術を身につける					
テキスト等	実習着着用					

	評価方法	評価割合(%)
評価方法 評価基準	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席率	20%

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	訓練デモ、説明	授業内容説明
	2	訓練説明＆実技 1	訓練の知識・技術を身につける①
	3	訓練説明＆実技 2	訓練の知識・技術を身につける②
	4	訓練説明＆実技 3	訓練の知識・技術を身につける③
	5	訓練説明＆実技 4	訓練の知識・技術を身につける④
	6	訓練説明＆実技 5	訓練の知識・技術を身につける⑤
	7	訓練説明＆実技 6	訓練の知識・技術を身につける⑥
	8	訓練説明＆実技 7	訓練の知識・技術を身につける⑦
	9	訓練説明＆実技 8	訓練の知識・技術を身につける⑧
	10	訓練説明＆実技 9	訓練の知識・技術を身につける⑨
	11	訓練説明＆実技 10	訓練の知識・技術を身につける⑩
	12	訓練説明＆実技 11	訓練の知識・技術を身につける⑪
	13	訓練説明＆実技 12	訓練の知識・技術を身につける⑫
	14	訓練説明＆実技 13	訓練の知識・技術を身につける⑬
	15	定期試験対策	まとめ

科目名	セラピー犬育成・活動総論		担当講師 (実務経験)	打越　一美 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　□後期　)	
授業形態	■講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物介在介入を円滑に行う上で、チーム適正評価は不可欠である。犬の適正だけではなく、ハンドラーのハンドリングや社交性などを含めて、ハンドラーと犬はチームとして評価される。アメリカと日本での一般的な評価基準を本講義では基礎的技術として身に着ける。				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	10%
	レポート	%
	授業態度	10%
	出席状況	20%

授業進行			講義内容
	1	動物介在介入　1	・講師自己紹介　・　アメリカと日本の動物介在介入
	2	動物介在介入　2	チーム適正評価とは　①
	3	動物介在介入　3	チーム適正評価とは　②
	4	Pet　Partners　1	アメリカでの動物介在介入について
	5	Pet　Partners　2	チーム適正評価実技　①
	6	Pet　Partners　3	チーム適正評価実技　②
	7	Pet　Partners　4	チーム適正評価実技　③
	8	Pet　Partners　5	補助犬とセラピー犬の違い
	9	Pet　Partners　6	日本での動物介在介入活動について
	10	CAPP　1	CAPPとは
	11	CAPP　2	チーム適正評価実技　①
	12	CAPP　3	チーム適正評価実技　②
	13	CAPP　4	チーム適正評価実技　③
	14	CAPP　5	日本での動物介在介入活動について
	15	総括	チーム適正評価

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	トレーニング教室の企画　1	セラピー犬のためのトレーニング教室企画　①
	17	トレーニング教室の企画　2	セラピー犬のためのトレーニング教室企画　②
	18	トレーニング教室の企画　3	セラピー犬のためのトレーニング教室企画　③
	19	トレーニング教室の企画　4	セラピー犬のためのトレーニング教室企画　④
	20	トレーニング教室の企画　5	セラピー犬のためのトレーニング教室企画　⑤
	21	トレーニング教室の実技　1	セラピー犬のためのトレーニング模擬教室　①
	22	トレーニング教室の実技　2	セラピー犬のためのトレーニング模擬教室　②
	23	トレーニング教室の実技　3	セラピー犬のためのトレーニング模擬教室　③
	24	トレーニング教室の実技　4	セラピー犬のためのトレーニング模擬教室　④
	25	トレーニング教室の実技　5	セラピー犬のためのトレーニング模擬教室　⑤
	26	トレーニング教室の実践　1	セラピー犬のためのトレーニング教室　①
	27	トレーニング教室の実践　2	セラピー犬のためのトレーニング教室　②
	28	トレーニング教室の実践　3	セラピー犬のためのトレーニング教室　③
	29	トレーニング教室の実践　4	セラピー犬のためのトレーニング教室　④
	30	総括	

科目名	動物介護学		担当講師 (実務経験)	伊藤　航 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	2年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物福祉コーディネーターとして高齢犬・猫の介護について理解する					
テキスト等						

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	概論	介護ケアとは・高齢犬、高齢猫と暮らすうえでの心構え
	2	高齢犬　1	食餌の介助・介護食
	3	高齢犬　2	食餌介助の問題点
	4	高齢犬　3	睡眠介助
	5	高齢犬　4	褥瘡予防
	6	高齢犬　5	歩行介助
	7	高齢犬　6	歩行介助の問題点
	8	高齢犬　7	排泄介助
	9	高齢犬　8	排泄介助の問題点
	10	事例相談	事例に基づき改善方法を考える
	11	高齢猫　1	行動変化と飼育環境整備
	12	高齢猫　2	食餌の介助・介護食
	13	高齢猫　3	食餌介助の問題点
	14	高齢猫　4	睡眠介助
	15	高齢猫　5	睡眠介助の問題点

科目名	トリミング応用実習		担当講師 (実務経験)	長崎　幸恵　・　有壁　和		
対象学科	動物福祉学科		年次学期	2年　(　■前期　■後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(60)　後期(60)	時間(単位)	240(8)
概要	一人で一頭の犬の全身カットを仕上げる技術を身に着ける					
テキスト等	トリミング学テキストⅠ　トリミング器具					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト技術力作品 レポート	20%
	授業態度	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　1
	2	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　2
	3	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　3
	4	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　4
	5	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　5
	6	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　6
	7	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　7
	8	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　8
	9	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　9
	10	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　10
	11	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　11
	12	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　12
	13	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　13
	14	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　14
	15	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　15

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　16
	17	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　17
	18	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　18
	19	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　19
	20	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　20
	21	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　21
	22	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　22
	23	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　1
	24	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　2
	25	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　3
	26	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　4
	27	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　5
	28	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　6
	29	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　7
	30	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　8
	31	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　9
	32	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　10
	33	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　11
	34	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　12
	35	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　13
	36	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　14
	37	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　15
	38	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　16

		講義テーマ	講義内容
授業進行	39	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　1
	40	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　2
	41	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　3
	42	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　4
	43	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　5
	44	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　6
	45	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　7
	46	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　8
	47	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　9
	48	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　10
	49	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　11
	50	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　12
	51	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　13
	52	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　14
	53	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　15
	54	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　16
	55	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　17
	56	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　18
	57	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　19
	58	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　20
	59	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　21
	60	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　22
	61	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　23

		講義テーマ	講義内容
授業進行	62	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　24
	63	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　25
	64	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　27
	65	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　28
	66	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　29
	67	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　1
	68	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　2
	69	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　3
	70	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　4
	71	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　5
	72	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　6
	73	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　7
	74	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　8
	75	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　9
	76	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　10
	77	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　11
	78	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　12
	79	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　1
	80	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　2
	81	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　3
	82	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　4
	83	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　5
	84	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　6

		講義テーマ	講義内容
授業進行	85	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 7
	86	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 8
	87	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 9
	88	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 10
	89	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 11
	90	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 12
	91	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 1
	92	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 2
	93	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 3
	94	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 4
	95	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 5
	96	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 6
	97	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 7
	98	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 8
	99	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 9
	100	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 10
	101	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 11
	102	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 12
	103	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 1
	104	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 2
	105	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 3
	106	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 4
	107	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 5

		講義テーマ	講義内容
授業進行	108	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　6
	109	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　7
	110	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　8
	111	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　9
	112	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　10
	113	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　11
	114	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　12
	115	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　13
	116	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　14
	117	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　15
	118	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　16
	119	総括	全体確認①
	120	総括	全体確認②

科目名	職場体験実習Ⅱ	担当講師（実務経験）	長崎　幸恵 有■　　無□		
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	2年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（50）　後期（-）	時間（単位）	100（3）
教育の狙い	学校で修得した知識や技術を基に、技術者としての役割や責任を理解し、実務能力を修得する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	
	定期試験	%	実習先での評価を基に総合的に評価
	小テスト・技術力・作品	%	実習前オリエンテーションの実施
	レポート	50%	施設により実習内容は変更になる場合があります
	授業態度	30%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	31	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	32		
	33		
	34		
	35		
	36		

授業進行	37	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り（自宅にてレポート作成）
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 2日の振返り（自宅にてレポート作成）
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		